



保育目標

1. 冬の健康生活に留意し、また冬の自然に触れながら元気に過ごす。(手洗い・うがいの励行)(ウメ・ヒヤシンス・クロッカス・ふきのとう・氷・雪・霜・あられ・ひょうなど)
2. 自分たちで相談し合い、表現活動、あそびを進める。また、友だちとのかかわりを深め、一緒に遊ぶことを楽しむ。(豆まき・お弁当の日・誕生会の日)
3. 身近な文字、数に関心を持ち、読んだり書いたりする楽しさを知る。



お知らせとお願い

*お休み中の病気やケガについては、登園時に必ず職員にお知らせ下さい。

例) 金曜日の夜に発熱し、土曜日受診し日曜日に下がりました。

例) 土曜日に自宅にて階段の5段上より落ちた。

*衣服の調節や室温、湿度に配慮しましょう。換気も忘れずに!!

*薄着の習慣をつけましょう。(室内で過ごす服装など…戸外に出るときはジャンパを着ます)

*持ち物の名前が消えかかっているようです。濃く書き直しましょう。(頂いた物などの名前の書き直しもお願いします)

*タオルやエプロンに汚れやカビが付いていないか、確認をお願いします。



3月14日(土)は 第58回 卒園式です。

もも・うめ・つばき・さくら・たんぽぽぐみ
のお友だちは、家庭保育のご協力をお願いします。

“もうすぐ卒園します” すみれ (年長)

保育園生活も残り2ヶ月となりました。
大好きな保育園とももうすぐお別れです。
今年もお世話になった感謝の気持ちを込めて
記念品づくりをします。「ありがとう」のたく
さんつまったプレゼントになるようみんな
で頑張ります。どうぞお楽しみに!



2月行事予定



1	日		
2	月	不審者訓練	英 ドーム たんぽぽ
3	火	豆まき会	
4	水		スミシグ
5	木	誕生会	
6	金		体 ドーム すみれ
7	土		
8	日		
9	月		英 ドーム たんぽぽ
10	火	身体計測	
11	水	建国記念の日 (イトマン)	スミシグ
12	木		
13	金		体 ドーム すみれ
14	土		
15	日		
16	月		英 ドーム たんぽぽ
17	火		
18	水	表現 (すみれ)	スミシグ
19	木	避難消防訓練	
20	金		体 ドーム すみれ
21	土		
22	日		
23	月	天皇誕生日	
24	火	交通安全指導	
25	水		スミシグ
26	木	お弁当の日	
27	金		体 ドーム すみれ
28	土	新入園児説明会	

<3月行事予定>

3日 (火) ひなまつり会
5日 (木) おわかれ会
14日 (土) 第58回卒園式



今月の歌



コンコンクシヤンのうた・
すうじのうた・うれしいひなまつり・
はる・春よこい など



《子育て四訓》 ～親子の関係を見つめ直してみませんか～

◎乳児はしっかり 肌を離すな

赤ちゃんは、しっかりと抱かれることによって、「守られている」「かわいがられている」と無意識のうちに感じ、信頼し、安心するものです。

◎幼児は肌を離せ 手を離すな

幼児は、乳離れをしますが、一気に離すのではなく、常に親がそばにすることで、「心配しなくてもいいよ」という安心感を与えることが大切です。

◎少年は手を離せ 目を離すな

少年は、友だちとのつきあいによって社会性が育つ時です。手をしっかり離して活動範囲を広げることが大切です。しかし、いろんな危険がありますので、決して目を離してはいけません。

◎青年は目を離せ 心を離すな

青年期になると完全に自立していくために、自分なりの生き甲斐、進路を進んで行く時期ですが、心を離してはいけません。

以上の四訓だけで、子育ての全てを言い尽くせるものではないでしょうが、自分の子育てを振り返る、あるいは自信を持つヒントにされてはいいかなと思います。



厳しい寒さの中でも元気いっぱいな子どもたち。しかし、風邪のウイルスは低温・低湿の冬が大好きです。風邪を寄せ付けない丈夫な体作り、環境作りに気を配り、寒い冬を元気に乗り切りましょう。

冬場に多い おう吐・下痢

この時期、気をつけたいのが「ウイルス性胃腸炎」。ノロウイルス、ロタウイルスなどに感染すると、おう吐と水のようなひどい下痢が起こります。高熱はあまり出ませんが、おう吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症になると危険です。子どもの様子を見ながら水分補給を心がけ、安静にして過ごしましょう。

おう吐・下痢のケア



吐き気が治まったら、子ども用イオン飲料やお茶、スープなど、飲める物を少量ずつ飲ませる



おしりはこすらずにお湯で洗い、タオルで軽く押さえて水分をふき取る

鼻水が長引くのは病気のサイン!?

鼻は呼吸や病気の予防に役割を果たす大切な気管。気になる症状があったら、耳鼻科を受診しましょう！



かぜをひいていないのに、しょっちゅう鼻が詰まったり、鼻水が出たりしている



→アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎などの疑い

鼻詰まりがあり、しきりに耳を触る



→急性中耳炎の疑い

いつも目やにや鼻水が出ている



→鼻涙管閉そくや結膜炎の疑い

気をつけて!



家電による事故を防ぎましょう



家電製品で思わぬケガをすることがあります。

よく使うものだからこそ、子どもに「ダメ」と言わずに済むよう工夫しましょう。

熱くなるもの、熱気が出るもの

炊飯器 電気ポット
電気ケトル アイロン
スチーム式加湿器 など

熱湯が出るもの

電気ポット 電気ケトル
ウォーターサーバーの給湯口 など

子どもが入れるもの

洗濯機

ドラム式洗濯機では子どもが入って出られなくなる事故がありました。縦型洗濯機では、のぞき込んだ子どもが落ちるおそれがあります。

対策①

子どもの手の届かないところに置く
危険な家電は、子どもの手の届かない安全な場所に置きましょう。コードを引っ張って、熱くなった家電が落下する事故も多いので気をつけて。

対策②

チャイルドロックを活用して
チャイルドロック機能があるものはぜひ活用しましょう。解除のひと手間はありますが、「ダメ!」と言う必要がなくなります。